

競技上の注意事項とお願い

1. 本大会は、2026年度（財）日本陸上競技連盟競技規則および、本大会の開催要項によって運営する。
2. 招集の時刻は以下のとおりとするので、厳守のこと。
トラック競技 **競技開始の30分前に開始し、20分前に完了する。**
フィールド競技 **競技開始の40分前に開始し、30分前に完了する。**
招集所（競技者係）は、第1ゲート（フィニッシュ地点前方）付近に設ける。
3. トラック競技の予選で、欠場者が出て9名以下になった場合は、予選は行わず決勝の時刻に決勝を行う。
4. リレーのオーダーは招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
5. 表彰は、決勝競技の終了後直ちにエントランスホールにて行う。各種目の1位には賞状とメダルを、2～3位の入賞者には賞状を授与する。小学生は100mのみ学年別に表彰する。
また、最優秀選手に「山口 一」杯を授与する。小学生の最優秀選手に賞を授与する。
6. トラック競技で800m以上の種目及びリレー種目のアンカーは、腰ビブス標識を招集時に競技者係から受け取り、右腰部へ四隅を安全ピンで確実に着けること。
7. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。ウレタン舗装以外の部分を通るときは、必ずスパイクシューズは脱ぐこと。
8. シューズ底の厚さは、競技規則（TR）5.2を適用する。
9. 衣類運搬を下記のとおり行う。
①運搬に必要なビニール袋（70ℓ）にマジック等でナンバーと氏名を書いて、招集時に競技者係に持参する。
※ビニール袋はTICにおいて1枚100円で販売する。②スタート地点でビニール袋に衣類等を入れ、所定の位置に置く。③役員が運搬する。④フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。
10. 携帯電話・ラジオ・CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みは禁止する。
11. 競技用器具は主催者が用意したものを使用すること。ただし、個人所有の用器具を使用したい場合は、競技開始1時間前までに係員の検査を受けること。検査は第1用器具庫（第4ゲート付近）で行う。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
12. ハードルの高さ、ハードル間の距離は、次のとおりとする。
【中女100mH】 0.762m 8.0m
【一女100mH】 0.838m 8.5m
【中男110mH】 0.914m 9.14m
【一男110mH】 1.067m 9.14m
13. 投てき種目の用器具の重さは、以下のとおりである。
【砲丸投】 <男子>中学 年齢別 <女子>中学
5.00kg 5.00kg(50歳代) 2.721kg
4.00kg(60歳以上)

14. スタートの合図はイングリッシュコールとする。小学生は1人が2回不正スタートした競技者を失格とする。
15. 大会開始前の場内での練習は8時30分までとする。
 - 1・2レーン是中・長距離練習、3～5レーンはスタート練習、6～9レーンはハードル練習とする。練習時のハードル設置は全てスタートから3台目までとする。
 - また、各自が安全に十分注意して行うこと。
16. 雨天練習場の利用は一方通行（東から西）とする。又、競技開始後の出入りは北側出入口のみとする。
17. 競技終了後の移動は、全てダッグアウトを通り第1ゲートから退場すること。
※ホームストレート前を通り退場しないこと。
18. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後は本人の責任において処置すること。
19. 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人が競技続行の意思を持っていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
20. 貴重品は、各自で責任を持って保管すること。1階更衣室ロッカーを使用してもよい。
21. お願い
 - ・弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。
 - ・競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。
 - ・競技場内は全面“禁煙”です。